



## 防災学習・避難訓練

3月11日（水）、防災学習と避難訓練をしました。東日本大震災から15年が経ちました。今、郡山小学校にいる子どもたちには、大地震について、映像では見ることができますが、実体験はないので、ピンとこないかもしれません。学校にいる間は、教職員の方で、子どもたちを誘導することはできます。登下校中については、授業の一つとして、防災学習を行っています。その場面に先生はいません。ご家族の方で、どのような行動をするのか、これを機会に子どもたちと相談しておいてください。



### 《防災学習より（3年）～東日本大震災について》

こわいののに、みんなのことを思って動いている女川町の中学校の子たちを見て、私もそんな人になりたいと思いました。

こんな大きな地震は体験したことないけど、もし鈴鹿市で地震がおきても、ひなんでできるように練習しておきたいです。

地震はいつ起きかわからないので、家の人と話し合っ、そなえをしようと思いました。

### 《防災学習より（4年）～学校で大地震が起こったら》

ゆれがおさまってから、くつをはいてにげる。

下駄箱がたおれるから、近くには行かない。

まどから、なるべくはなれた所で丸くなる。

ダンゴムシのポーズになる。

ガラスをさける

### 《防災学習より（5年）～地域の災害》

防災カルテはもっておきたいです。

災害が起きる前に、食べ物、水を用意しておきたいです。

避難経路を知っていて、すぐに逃げれるようにしたいです。

家に、防災グッズがないので、そろえたいです。

## 3月11日の学校給食

鈴鹿市では、東日本大震災で被害のあった地域の一つである宮城県女川町（おながわちょう）の中学生と鈴鹿市の中学生は、震災直後から俳句や短歌の交換などを通して交流を行っています。そこで、3月11日は、その交流のある宮城県の料理を給食に取り入れました。

宮城県の牡鹿（おしか）半島周辺の海では脂（あぶら）の乗った「金華さば」がとれます。「さばの南蛮漬け」は女川町の給食で人気メニューです。



「くずかけ」は宮城県の郷土料理の一つです。お盆やお彼岸に食べるそうです。味付けや具材は家庭によってちがうそうです。

## 郡山で世界の音楽会(6年生)

「すずかで世界の音楽会」というコンサートが3月7日(土)にありました。そこでチェロを演奏した北垣彩さん、ピアノを演奏した今田篤さんが、本校6年生を対象に音楽会を開催してくれました。チェロをひいている時に、実際に楽器に触らせてもらって、楽器が震えているのを体験したり、校歌を演奏してもらったりしました。



## 昔のくらし体験～あられ炒り(3年生)

3月17日(火)、3年生では、昔の道具体験をしました。マッチを使ってみたり、マッチやライターを使わずに火おこしにチャレンジしたりしました。その後、おこした火でポップコーンを作ったり、あられを炒ったりしました。

一年間、多くの地域ボランティアの方のサポートをうけて、たくさんの体験学習をさせていただき、ありがとうございました。次年度も、体験学習を継続していきたいと思えます。ご協力よろしくお願ひいたします。

